

## こども俳句「おほしさま」

白鷹の夜空にはきれいな星がいっぱい輝いています。でも、夏の夜、星を眺めてロマンチックな思いになるひとはあまりないのではないのでしょうか。保育園では、夏の夜のお楽しみ会でキャンプファイヤーや花火をします。今年はいっぱいの星を眺めることができました。

「おほしさま かぞえられない いっぱいで」

「1.2.3…」いくつまで数えられた？七夕に願った「夢」を思い浮かべたかな？

「ひるなのに おほしがいっぱい プラネタリウム」

保育園でプラネタリウムを見に行きました。プラネタリウムって不思議な世界ですね。星の学習？というよりも感性を！



白鷹町認知症高齢者  
見守りネットワーク

**見守り  
支え合い**

お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

**認知症・介護に関するご相談は  
地域包括支援センター Tel.86-0112**

認知症の予防とケアについては「認知症を正しく知ること」が重要です。その一つとして、若い世代から認知症に対して理解を深めていただくために、町内の中学校・高等学校の生徒を対象に家族介護教室事業「認知症予防講座」を開催しています。

平成24年度は西中学校にて、認知症高齢者見守りネットワーク協議会のみなさんによる認知症予防の寸劇と「認知症って何？自分たちにできること」と題して、吉川記念病院院長の吉川順氏からご講演をいただきました。

講演では認知症の主な原因となる病気、アルツハイマー

病・脳血管障害（脳梗塞・脳出血）等や治療について学びました。認知症予防の寸劇では認知症のかたと家族の正しいケア、悪いケアについて、次の3つの場面を演じていただきました。

- ・財布をしまい忘れるおばあちゃん
- ・ご飯を食べたことを忘れるおじいちゃん
- ・家に戻れなくなったおじいちゃん

認知症予防講座終了後のアンケートでは、ほぼ全生徒が「認知症」という言葉は知っていましたが、認知症が病気であることや薬を飲むことで進行を遅らせることができることなど、病気についての詳しいことは認知症予防講座で知ったという答えが多くありました。中学生のみなさんが今後実行したい事として、

- ・認知症の人をみつければ、声をかけたり、困っていたら助ける
- ・認知症は思ったより身近でびっくりした。家族が認知症になつたら、優しく話を合わせて会話したい



西中学校での認知症予防講座

・自分の地域にも認知症のお年寄りがいると思うので、声をかけて優しく接したい

・寸劇のような声かけを実践したい

などと答えてくれました。

今年度は東中学校で認知症予防講座を開催予定です。

【認知症ケアのポイント】

認知症のかたは「社会的困難」を抱えることが多いと言われています。

ここで言う「社会的困難」とは、

- ・一人暮らし、社会的孤立
- ・貧困・受診拒否・サービス利用の拒否
- ・悪徳商法被害
- ・近隣トラブル
- ・介護者負担
- ・介護者の心理的苦悩
- ・介護者の健康問題
- ・虐待
- ・介護拒否
- ・家庭崩壊
- ・自殺
- ・介護中心などです。



■相談・問い合わせ  
白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク協議会事務局  
地域包括支援センター  
☎ 86-0112

「社会的困難」の対応としては認知症ケアの質を高める必要があり、そのためには一人ひとりに合った医療と介護のサービスが不可欠です。

地域の中で、認知症に早期に気づき、認知症のかたに合った医療と介護のサービスが受けられるよう、そして、介護者が、認知症のかたの介護をひとりで抱え込まないように、かかりつけ医や専門医療機関に早期に相談しましょう。